

第1回 東日本大震災子ども支援意見交換会のご案内

ー東日本大震災・子ども支援のあり方と提言ー

2011年3月11日に東日本を襲った大地震は多くの犠牲者・被災者をもたらしました。震災後、様々な人たちが可能な限りの支援を子どもや子育て家庭へ実施しています。支援は何よりも被災した子どもや子育て家庭を勇気づけ、生きる力につながらなければなりません。けれども、子どもや子育て家庭の実態はいまだに実態を明らかにならなかったと難しい状況であり、災害時の子ども支援の取り組みはその情報提供すら十分になされず、有効な支援となっているのかその把握もなお困難な状況にあります。

震災後2か月がすぎようとしているなか、日本ユニセフ協会、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、チャイルドライン支援センター、子どもの権利条約総合研究所の4団体が呼びかけ、震災子ども支援を行うNGO/NPOが、震災支援についておとなの情報に埋もれがちな子どもたちや子育て家庭に関する情報を共有するホームページの運営、子ども支援を行うNGO/NPOの連携促進、復興に向けた政策提言のための活動等を、国連・子どもの権利条約を基盤にして進めるためのネットワークづくりを始めました。

子どもたちのエンパワメントのために力を合わせませんか。市民・NGO/NPOと政府、国会議員が大地震・原発事故で被災した子どもや子育て家庭・復興支援について現状と課題について情報・意見交換会を行いたいと思います。ぜひ、ご参集ください。

日時：2011年5月26日（木）11時～13時

場所：参議院議員会館 B-107（地下1階）

*新しい入館システムとなっています。事前申し込みの上30分から10時45分までに受付においでください。

司会進行：森田明美（東日本大震災子ども支援ネットワーク事務局長 東洋大学教授）
荒牧重人（東日本大震災子ども支援ネットワーク運営委員 山梨学院大学教授）

<報告>

1 東日本大震災子ども支援ネットワークの趣旨と活動

森田明美（東日本大震災子ども支援ネットワーク事務局長 東洋大学教授）

2.東日本大震災子ども支援ネットワーク呼びかけ団体の取り組みと提案

- ①困難な立場にいる子どもたち（孤児、未就学児） ②子どもたちの声
- ③子ども参加によるまちづくり ④子ども参加支援 など

3 震災子ども支援への政府の取り組みの現状と課題

内閣府、厚生労働省、文部科学省（予定）

4 震災子ども支援への国会議員からの発言

<討議>

<主催>

東日本大震災子ども支援ネットワーク

事務局：東洋大学白山校舎2号館608号 森田明美研究室

TEL・FAX 03-3945-7481 E-mail: morita@toyo.jp